

吉備津神社本殿及び拝殿



| | |
|--------|---|
| 指定区分 | 国指定重要文化財(建造物) 国宝 |
| 読みかた | きびつじんじゃほんでんおよびはいでん |
| 所在地 | 岡山市北区吉備津 |
| 指定年月日 | 昭和27年3月29日 |
| 解説 | 吉備の中山の西麓に鎮座する吉備津神社は、備中国の一宮、吉備国の総鎮守として尊崇を受けている。現本殿・拝殿は、明德元年(1390)に後光厳天皇の勅命を受け、室町幕府3代将軍足利義満が再興に着手し、応永32年(1425)に竣工した。本殿は、桁行正面五間、背面七間、梁間八間、屋根は比翼入母屋造(別名吉備津造)と称される檜皮葺の屋根形式で知られる。内部は、中央に三間社流造の平面において内々陣・内陣とし、その周囲に中陣・朱壇・外陣を配するという重層的な構成となっている。拝殿は、正面一間、側面三間、檜皮葺、正側面三方に裳階がつき、本殿に妻入りで接続する。内部は、化粧屋根裏とし、豪快な木組みをみせ、開放的な空間となっている。 |
| アクセス方法 | JR吉備津駅から徒歩約10分 |
| 公開状況 | 開門5:00, 閉門18:00 |
| 設備 | 駐車場  トイレ  |
| 備考 | |

きつずページ



| | |
|-------------------|---|
| していくぶん (指定区分) | 国指定重要文化財(建造物) 国宝 |
| ぶんかざいめい (文化財名) | 吉備津神社本殿及び拝殿 |
| よみかた | きびつじんじゃほんでんおよびはいでん |
| しょざいち (所在地) | 岡山市北区吉備津 |
| していつひ (指定した日) | 昭和27年3月29日 |
| せつめい | 現在(げんざい)の建物(たても)は1435年(ねん)に建(た)てられました。入母屋(いりもや)の屋根(やね)を2つならべた「吉備津(きびつ)づくり」といわれる独特(どくとく)の形(かたち)をしています。中世(ちゅうせい)を代表(だいひょう)する大型(おおがた)の神社建築(じんじゃけんちく)です。国宝(こくほう)に指定(してい)されています。 |